

- 8 統帥機關
- 9 内閣ト大本營ノ關係
- 10 終戰措置
- 7 平和再建ノ構想
- 1 將來ニ於ケル列國ノ動向ト戰後ノ世界機構
- 2 新日本建設案

戰爭調査會事務局調査官擔當豫備調査項目

第二部 (軍事)

- 一 軍ノ政治干與ノ經緯ト之カ影響ノ究明
- 二 日支事變以後ニ於ケル戰爭指導時ニ最高戰爭指導機關並戰爭指導方策ニ就テ
- 三 滿洲事變以後ニ於ケル國家總力戰機勢及之カ運營ノ實情
- 四 第一次歐戰大戰以後ニ於ケル國際情勢時ニ太平洋ヲ中心トスル情勢推移ニ關スル判斷ト國防方策ノ檢討ニ就テ
- 五 戰爭ノ實施ニ鑑ミ軍(陸・海・空)ノ編制組織運営ノ適否ニ就テ
- 六 備戰用兵上ニ於ケル主要戰國ノ究明
- 七 滿洲事變。日支事變。太平洋戰爭ノ原因及戰爭經過概要ノ再檢討
- 八 戰爭敗因ノ基本の問題ノ綜合觀察



(未定稿)

第三部 會議重要目案

- 第一 第一次世界大戰後、世界經濟
  - 一 第一次世界大戰後、經濟混亂
  - 二 世界經濟、快復
  - 三 世界經濟恐慌、特質
  - 四 各國、恐慌對策
    - イ 國際的經濟強弱へ、努力
    - ロ 「ブロツク」經濟、形成ト、最氣振興策
  - 五 「ソ」聯邦ニ於ケル社會主義經濟ノ建設
- 第二 滿洲事變ト日本經濟
  - 一 世界恐慌ノ重壓下ニアル日本經濟
    - イ 金融禁ト産業合理化運動ノ發展
    - ロ 經濟恐慌ノ推移

(2011.11.10)



通利生産恐慌ノ整理  
農業恐慌

海外貿易ノ停頓

ハ 日本ノ経済構造ト當時ノ窮状

三 滿洲事變ノ發生トソノ經濟的背景

イ 滿蒙ニ於ケル日本ノ「特殊權益」ノ經濟的内容

ロ 支那資本ノ滿洲進出ト支那ノ統一ト滿洲ニ於ケル農民運動

ハ 「アメリカ」ノ門戸開放政策ト「ソ」連邦ノ赤化五年計畫ト

ノ影響

ニ 日本ニ於ケル經濟恐慌ノ深化

第三 滿洲事變ヨリ支那事變ニ至ル日本經濟

一 財政ノ膨脹ト「インフレーション」

イ 時局匡救豫算カラ準戰時豫算ヘノ移行

ロ 公債増發トソノ消化ト日銀公債引受

ハ 増税ト臨時利得税ノ創設ト關稅引上等

三 景氣轉換期ノ經濟

イ 輕工業ノ發展ト重工業化ノ要請

ロ 企業ノ集中ト中小企業問題

ハ 農業恐慌ノ深化ト農村ノ窮乏ト農産物價格ノ低落ト農村対策

ニ 勞働運動ト農民運動ノ發展

ホ 日本「ファシズム」擡頭ノ經濟的基礎

三 國際經濟戦ニ於ケル日本ノ地位

イ 日本貿易ノ發展

ロ 世界的關稅戰ノ展開

ハ 日滿經濟「ブロック」ノ結成ト滿洲ヘノ資本輸出

ニ 日英通商戰ノ展開

日印 日蘭 日濠 日加 日埃 日英等ノ通商協定

ホ 對「ソ」經濟ノ關係



第四 支那事變以後ニ於ケル日本經濟

一 支那事變發生ノ經濟的背勢

イ 世界恐慌ノ發展ト支那ニ於ケル列國ノ經濟活動

ロ 支那ニ於ケル統一國家ノ形成ト經濟建設

支那經濟建設ト幣制改革

支那民族運動ノ經濟的影響

ハ 日本ノ支那進出ト其ノ經濟的意義

日本ニ於ケル南進論ト北進論ノ消長

北支那確保ノ經濟的意義

中支那進出ノ經濟的目的

滿洲國建設ト北支那經濟トノ關係

ニ 日本ニ於ケル「高度國防體制」ノ發達

イ 軍事擴張ノ影響ト「インフレーション」ノ進展

増稅ト公債ノ累積

資金調整

通貨膨脹ト物價統制

ロ 物資動員ト生産力補充

軍需生産ノ擴充ト民需生産ノ抑制

海運輸送ノ強化

ハ 外貨貿易ノ轉換

貿易統制ノ強化ト爲替管理

地域別・商品別ノ構成變化

ニ 農業生産ト食糧問題

米穀政策ノ轉換

農業ニ於ケル資材勞働力ノ不足ト生産ノ停滯

農村ニ於ケル「インフレーション」ノ浸潤

ホ 勞務統制ノ強化

勞務動員體制ノ整備



勞務配當ノ轉換、重工業へノ移動、軍動員ノ擴大

一 國民生活ノ規正

生活必需品ノ配給制、消費抑制

所得構成ノ變化、貯蓄獎勵

二 國土計畫ノ概観

三 國家總動員法ト經濟新体制

一 國家總動員法制定ノ経緯

制定ノ動機トソノ、經濟的背景

變動ノ經過

二 經濟新体制ノ發足

經濟新体制要諦ノ根據

經濟新体制ニ對スル各方面ノ反響

四 外地經濟ノ對内地寄與

一 朝鮮

二 臺灣

三 南洋

五 滿洲國ノ經濟建設ト支那ノ經濟開發

一 滿洲國ノ經濟建設ト經濟開發五ヶ年計畫

二 支那ノ經濟開發

三 日滿支經濟「プロツク」ノ達成

第五 太平洋戰爭開戦ノ背景

一 第二次世界戰爭ノ發生ト日本經濟ニ及ボセル影響

二 太平洋戰爭開戦ノ經濟的背景

一 支那事變處理ノ延引ト日本經濟ノ逼迫

二 日滿支經濟「プロツク」ノ強化ト國內ニ於ケル國防体制ノ整備

三 國內原料ノ消耗ト原料輸入ノ杜絶

三 日本及主要交戰國ノ經濟戰力ニ對スル日本側ノ判斷

第六 太平洋戰爭下ノ日本經濟



一 「大東亞共榮圈」ノ經濟建設

イ 「大東亞共榮圈」建設ノ目標

ロ 「大東亞共榮圈」建設ノ特徵ト「共榮圈」内諸民族ノ動向

ハ 「大東亞共榮圈」建設ノ經濟過程

三 太平洋作戦ト軍ノ經濟力動員ノ規模ト補給消費

四 戰時經濟政策實施ノ詳細

イ 國家計畫ノ概観ト統制機構

ロ 戰時計畫ト財政金融政策

ハ 生産ノ増進ト物資ノ動員

ニ 農林水産統制ト食糧政策

ホ 交通統制

ヘ 勞務統制

ト 企業統制

チ 物價統制

リ 生産技術ト生産増進

四 經濟構造ノ變化

イ 産業再編成

ロ 農業構造ノ變化

ハ 資本ノ集中過程

ニ 職業別人口構成ノ變化

五 國民生活ノ變貌

六 經濟統制ノ特徵ト經濟政策ノ效果

イ 統制ノ理念・構構ノ特徵・軍ノ經濟干渉等

第七 太平洋戰爭中ニ於ケル大陸・占領地ノ經濟工作

イ 現物物資ノ獲得ト之ニ伴フ諸問題

一 蘇 洲 聯

二 支 那

三 緬 甸

四 泰 印



- 五 馬來
- 六 「ビルマ」
- 七 「フィリピン」
- 八 「インドネシア」 (海峽植民地)
- 九 「インドネシア」 (海峽植民地)
- 一〇 其ノ他ノ諸島
- 第八 支那ニ於ケル日本ノ影響ノ程度
- 一 支那
- 二 「マニラ」
- 三 「イギリス」及「フランス」
- 四 「ソ」等邦
- 五 「ドイツ」及「イタリヤ」
- 第九 降伏後ニ於ケル日本經濟ノ影響
- 一 戰爭ノ日本經濟ニ及ボセル損失

第四部會調查事項要目案

(昭和二十一年五月二十四日)

一 前提問題

- A 日本人ノ國民性
- B 日本人ノ國家觀
- C 日本人ノ道德水準
- D 日本人ノ智能水準
- E 日本人ノ文化水準
- F 軍官・民相互間ニ於ケル感情

二 思想

- A 今次戰爭前ニ於ケル思想狀勢
- B 今次戰爭中ニ於ケル思想動向
- イ 所謂右翼的思想軍國主義的思想ノ發展經過及其影響
- ロ 所謂右翼的思想軍國主義的思想ノ基礎
- ハ 所謂全體主義的思想ノ宣傳鼓吹ノ經過及其ノ影響